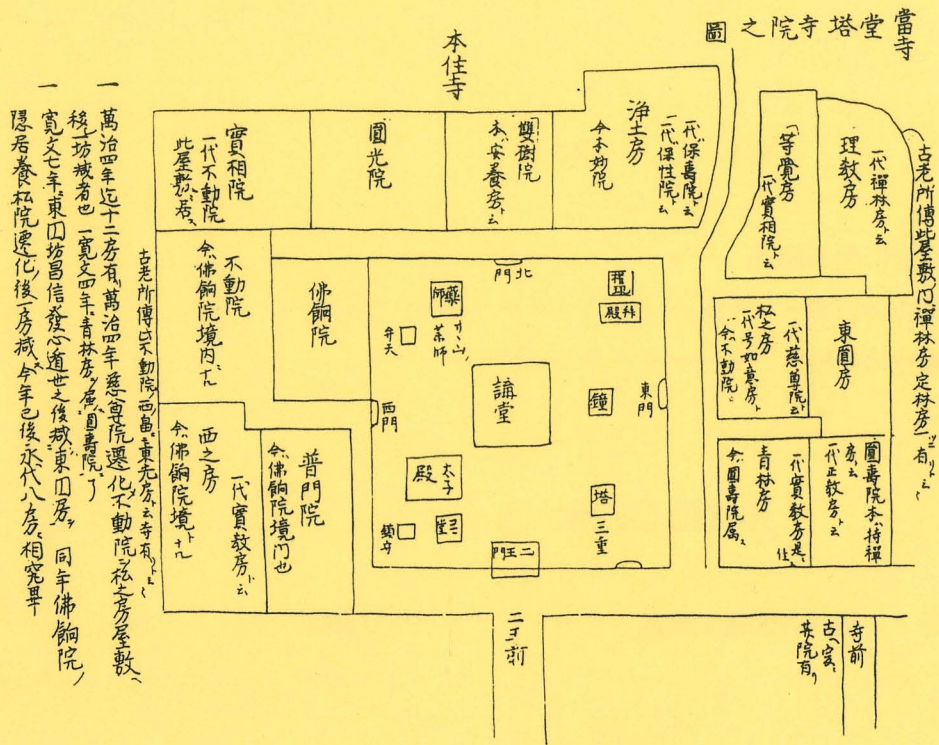


斑鳩寺講堂瓦銘 II

一 斑鳩寺講堂屋根葺替修理工事に 伴う瓦銘調査報告 II 一



第1図 斑鳩寺伽藍配置図 (当寺堂塔寺院之図『斑鳩寺記録』より転載)

1989年9月

太子町教育委員会

例 言

1. 本書は、斑鳩寺講堂屋根葺替工事に伴う瓦銘調査報告書のⅡである。
2. 調査は、太子町教育委員会社会教育課三村修次・田村三千夫が行なった。調査後の整理作業については、首藤聖・岩村千穂両名の協力を得た。
3. 本書の執筆は三村が行ない、編集は三村・田村が担当した。

目 次

1. 調査に至る経過 ----- 1
2. 調査の方法 ----- 1
3. 調査の結果 ----- 1

挿図目次

- 第1図 斑鳩寺伽藍配置図 ----- 表紙

表 目 次

- 第1表 斑鳩寺講堂屋根瓦銘文集成 Ⅱ ----- 2

1. 調査に至る経過

太子町鶴字斑鳩寺 709番地の、斑鳩寺講堂屋根葺替修理事業が行なわれることになり、8月より屋根工事が実施された。この講堂屋根瓦銘調査については、平成元年 4月12日に実施したが、今回新たに確認及び検出されたので、斑鳩寺講堂瓦銘Ⅱとして報告したい。

斑鳩寺講堂屋根葺替修理工事による南面屋根瓦取解工事が 8月24日より行なわれ、講堂前に再利用瓦が種類ごとに抽出していた。また、工事中に検出された瓦もあり講堂瓦銘の第2次調査として平成元年 9月11日に実施し、9月27日までに拓本資料等の整理を行なった。

2. 調査の方法

今回の調査は、講堂南面地区の瓦銘調査で、この工事中に発見されたものと再利用瓦内の瓦銘を抽出して、拓本及び実測図を作成した。また、瓦葺きに使用した釘も採取した。

3. 調査の結果

今回調査では、位置を確認することはできなかったが、明和六年銘(1769)で、『斑鳩寺本堂瓦』として双樹院の住職の名がみられる丸瓦3個体と『鶴住人藤原氏三木』及び『大和西之京之住人』の瓦師名が記載された丸瓦が確認された。

また、第1次調査で確認された、『大坂木津川口 瓦屋源兵衛』の刻印のある瓦の内面には、「い三寸」「ろ式寸」とヘラで記入されており、瓦屋根を葺く位置を示すきものと考えられる。

第1表 斑鳩寺講堂瓦銘集成 II

(講堂瓦銘Iに続き)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	記載位置	銘文	文献
15	1769(明和6)	講堂向拝部	丸瓦	凸面	斑鳩寺本堂之瓦 干時 明和六年己丑二月中旬始之 瓦師當所三木庄兵衛作之 現世安穩 後世善處 南無阿弥陀佛 當寺雙樹院大忍釋妙志記之	
16	1769(明和6)	講堂向拝部	丸瓦	凸面	斑鳩寺本堂之瓦 皆 明和六年己丑二月十七日始之 瓦師當所三木庄兵衛造之 現世安穩 後世善處 當寺双樹沙門妙志記之 南無阿弥陀佛	
17	1769(明和6)	講堂向拝部	丸瓦	凸面	斑鳩寺本堂之瓦也 明和六年己丑二月中浣始之 瓦師當所 三木伊八郎 造之 現世安穩 後世善處 當寺雙樹院妙志識之	
18		講堂南面	丸瓦	凸面	觸住人藤原氏三木庄兵衛 治七郎 十五郎 仁兵衛 善右衛門 太子本堂瓦 清六 仕候 藤右衛門 吉兵衛 源三郎 九人之作	

瓦文

斑鳩寺 講堂

(太子町鵜 709)

番号	年号 (和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
15	1769 (明和 6)	講堂南面	丸瓦	斑鳩寺本堂之瓦 干時 明和六年巳丑二月中旬始之 瓦師當所三木庄兵衛 現世安穩 作之 後生善處 南無阿弥陀佛 當寺雙樹院大忍釋妙志 記之	



瓦文

斑鳩寺 講堂

(太子町鵜 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
16	1769 (明和 6)	講堂南面	丸瓦	斑鳩寺本堂之瓦 告 明和六年己丑二月十七日始之 (明和)瓦師當所 三木庄兵衛 現世安穩 造之 後生善處 當寺双樹沙門妙志 南無阿彌陀佛 記之	



瓦文

斑鳩寺 講堂

(太子町鰯 709)

番号	年号 (和曆)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
17	1769 (明和 6)	講堂南面	丸瓦	斑鳩寺本堂之瓦也 明和六年己丑二月中浣 (和) 始之 瓦師當所 (所) 三木伊八郎 現世安穩 造之 後生善處 當寺雙樹院妙志識之	



瓦文
斑鳩寺

講堂

(太子町鳩 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
18		講堂南面	丸瓦	鳩住人藤原氏三木庄兵衛 (住) 治七郎 十五郎 仁兵衛 善右衛門 太子本堂瓦 清六 仕候 藤右衛門 吉兵衛 源三郎 九人之作	

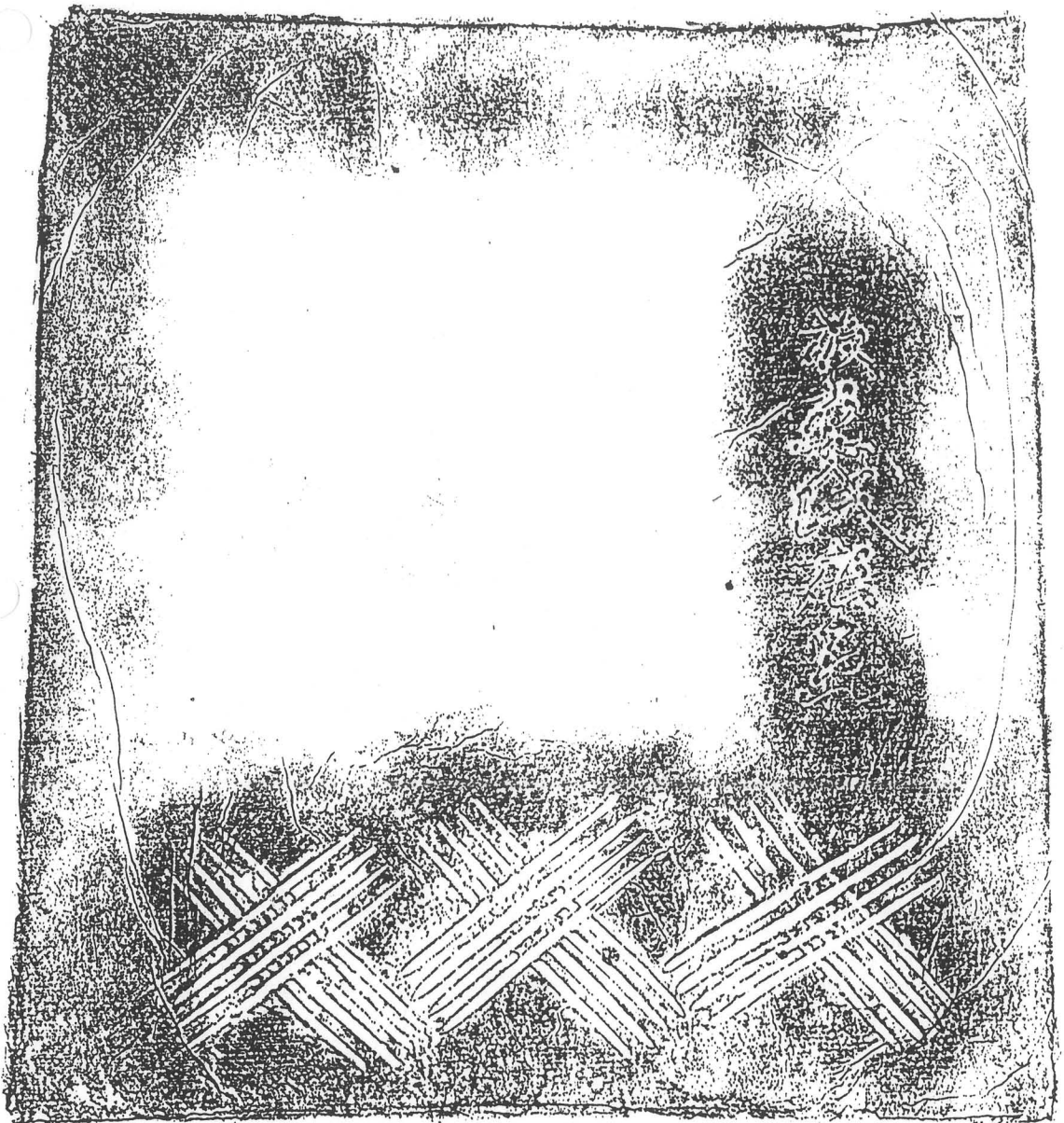


瓦文

斑鳩寺 講堂

(太子町鵜 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
19		講堂南面	平瓦	凸 藤原氏庄兵衛	



瓦文

斑鳩寺

講堂

(太子町鶴 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
20		講堂南面	平瓦	凹刻印	

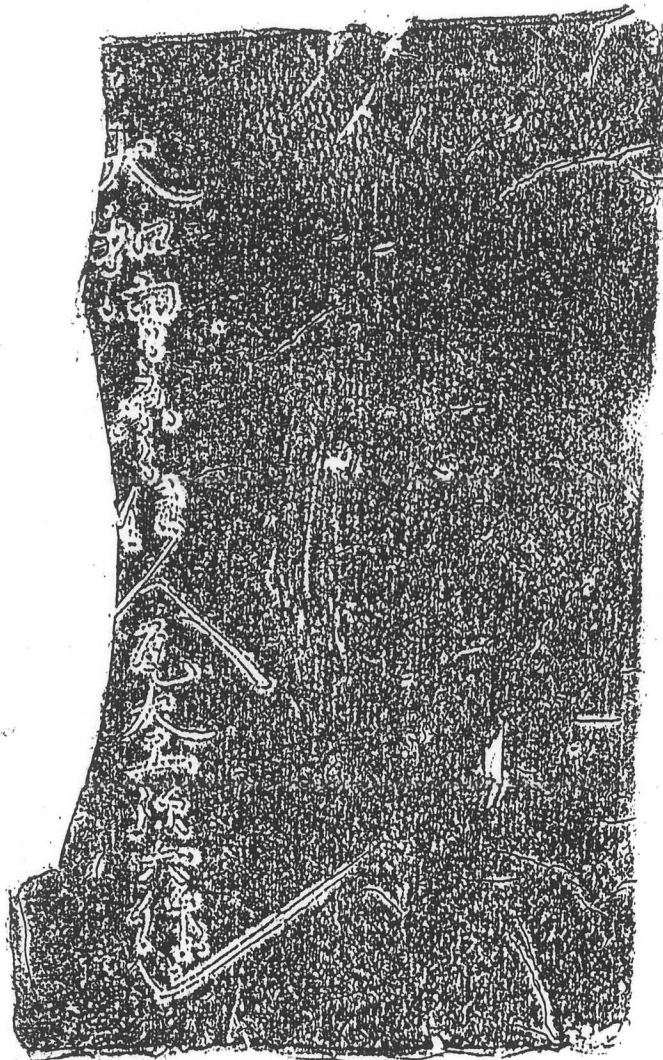


瓦文

斑鳩寺 講堂

(太子町鵜 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
21		講堂大棟	丸瓦	大和西之京之住人瓦大工弥六作 (のし瓦に転用)	

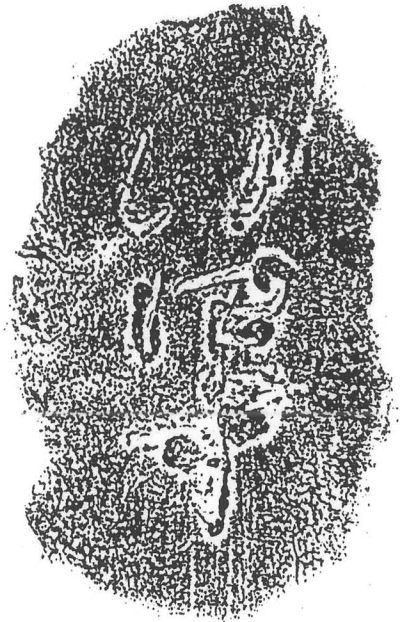


瓦文

斑鳩寺 講堂

(太子町鶴 709)

番号	年号 (和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
22		講堂両袖瓦	袖瓦	凸 大坂木津川口 瓦屋源兵衛 凹 い四寸	



瓦文

斑鳩寺 講堂

(太子町筋 709)

番号	年号(和暦)	使用建物及位置	種類	銘文	文献
23		講堂南面	隅巴	飾り(橘) (番号14と同范関係にある)	1

